

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

新体制の執行部と議会の初の定例会が終了しました。副市長が二人体制となり、市民の皆さんも大きな関心があり、多くの反響を頂きました。市の課題をスピーディーに取り組んでいただきたいと期待しております。今年も暑い日が続いています。農作物にも生産量や品質などに影響があり、高校野球甲子園にも試合運営に変更が行われるなど異常気象の影響が考えられます。この夏を各自において安全に、自分にあった対応をしていただきたいと思います。

令和6年 第2回臨時会報告 4月16日～4月30日

専決(条例・令和5年度補正予算)/人事案件/条例関係など21議案を可決

■市の副市長を2名とする(トップマネジメントの強化を目的)



令和6年 第3回定例会報告 6月10日～6月28日 (最終日は浴衣議会)

条例関係(新規制定・一部改正)/令和6年度補正予算/議会改革特別委員会の設置など23議案を可決

請願 1件 < 継続審査 >

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願

■市長及び副市長の給料月額額の減額(市長20%:令和10年4月10日まで・副市長15%:令和10年5月13日まで)

■教育長の給料月額額の減額(10%) 令和10年5月13日まで

■議会改革特別委員会の設置

●適正な議員定数

●議会選出監査委員選任の義務付け緩和 などについて検討

■紙オムツのサブスク推進事業(月額利用料の補助)

補正予算/409万円(一部)

■市長からの提案 以下などの見直し

●郡上偕楽園の移転 ●廃棄物処理施設の整備 ●大矢元工業団地の整備



議会の新体制が決定 所属委員会の紹介 (一部)

議長 森藤 文男

副議長 田中 よしひさ

議選監査委員 田代 まさよ

産業建設常任委員会 6名

委員長 原 喜代美

副委員長 野田 かつひこ

委員 田代 まさよ / 山田 智志 / 池田 源則 / 蓑島 正人

広報広聴特別委員会 9名

委員長 野田 かつひこ

副委員長 本田 教治

委員 蓑島 もとみ / 田代 まさよ / 山田 智志 / みずの まり / 和田 樹典 / 有井 弥生
北山 浩樹

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971

住所 郡上市白鳥町中西488-1

E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能 ▶



公式Webサイト

友だち登録で、
毎号通信が届く ▶



LINE友だち

6月定例会 私の一般質問と市の答弁

人手不足対策について

質問 市の職員の採用状況と対策は

答弁 河合市長公室長

令和6年度の採用職員は、医師を除く全職種の合計で28人である。採用計画では43人を予定していたので、大変厳しい状況となっている。採用試験の前倒しや試験回数の拡大、募集年齢の見直しなどを行ってきたが、年々職員の確保が難しくなっている。今年度から、試験方法の一部見直しを行っている。試験内容についても今年度からは、特別な準備や勉強が不要な「職務能力試験」に変更するなど受験しやすくした。見直しは若い人たちが郡上で働き、暮らし続けることにつながるものと期待する。

質問 教職員の確保などの状況と対策は

答弁 長尾教育次長

令和6年度の4月当初、市内の小中学校の教職員は定められた定数をみたましている。年度途中に産休・育休・病休などの長期休業を取得する教職員が出た時、常勤講師が見つからず、教員の補充が出来ないことが課題である。人材確保として、大学と連携して教育実習の場を積極的に提供している。県の事業ではあるが、採用試験の合格者に対し一定期間勤務することを条件に奨学金返済の一部を補助する奨学金返済補助制度が設けられている。さらに周知を図り教員を目指す学生を一人でも増やしたい。

質問 市において人手不足対策と人手の確保は

答弁 粥川商工観光部長

市においても少子高齢化などの影響により、市内事業者の人材確保は大きな課題である。郡上市雇用対策協議会を中心に、学生に情報を提供し将来の市内就職につなげる働きかけや、「ホワイト企業」を目指すための研修会や情報提供を行い、企業価値や働く場所の確保、雇用創出の環境整備を支援している。今後も、商工会や郡上市事業承継支援センターとの連携を図り就業支援や企業の職場環境整備などの事業を推進し課題解決に努める。

お笑いの力で地域活性化について

質問 地域を元気にするため「住みます芸人」の活用を検討出来ないか

答弁 河合市長公室長

芸人としての知名度や発信力、大手芸能事務所のネームバリューはおおきな魅力である。「住みます芸人」について、市内外に向けたPRや関係人口の創出のほか、地域の元気づくりに関連するところもあると思うので、地域の魅力発信などの選択肢の1つとして、費用面も含め検討したい。

森林環境税について

質問 森林環境税は2024年4月から国内に住所のある個人に対して課税される国税である。市町村において個人住民税均等割と併せて一人年額千円が徴収される。その税収の金額が、国から森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与される。森林環境譲与税は有効に使用されているのか、税の用途はどの様に公表されているのか

答弁 田代農林水産部長

用途としては、森林整備において、所有者が管理できない森林を市が10年間預かり森林整備を行う、森林経営管理事業、木が倒れこんで大雨の時に洪水を引き起さないよう風倒木を除去する風倒木等林内処理事業、集落付近等の危険と思われる森林を整備する生活保全林整備事業などに使用。人材育成・担い手の確保事業では、林業に関わる方の林業技術者育成・確保事業や市外から林業従事者を呼び込むための林業就業移住支援事業などを行っている。令和5年度の森林環境譲与税の当初予算は、2億8587万円で、3月決算見込みは2億5073万円ほどになり活用率は88%となる。未執行の分は、一時的に森林整備等に使用する目的の基金へ積み立てをする。森林環境譲与税の用途は市のホームページで公表している。